

About SENDAI

東北の中心都市、仙台は自然環境と利便性に恵まれたとても暮らしやすい街です。

夏の暑さは穏やかで、東北でありながら冬の降雪量が少ないことが特徴です。

年間を通じて様々なイベントが行われ、たくさんの人で賑わい、春は「仙台・青葉まつり」、夏は「仙台七夕まつり」、秋は「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」、冬の「光のページェント」には県内外から多くの観光客が訪れます。また、1月には各地域の神社で「どんと祭」という正月送りの行事が行われています。

買い物や生活に必要な施設がすべて揃っており、JR、地下鉄、バスなどの交通網が充実しているので、安心して生活をしながら、仕事に打ち込むことができます。



Being the Pioneer of
the Medical Front
for TOHOKU

臨床研修医 募集案内



ACCESS MAP

仙石線

「JR仙台駅」から石巻方面下り電車に
乗車(約16分)し、
「陸前高砂駅」にて下車、徒歩約7分

宮城交通バス

「仙台港フェリーターミナル行
(福田町夢メッセみやぎ経由)」に乗車し、
「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分

仙台市営バス

「高砂市営住宅西行」に乗車し、
「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分

「6号公園住宅前行」に乗車し、
「東北医科薬科大学病院入口」にて下車、
徒歩約3分

車

仙台東部道路「仙台港IC」より約5分

お問合せ

卒後研修支援センター

TEL: 022-259-1221 (内線1478)

E-mail: kenshu-shien@tohoku-mpu.ac.jp

FB: @TMPU.CPME



<https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/resident>

東北医科薬科大学病院
TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY HOSPITAL



私たちと一緒に学びましょう！

当院が大学病院としてスタートを切ってから8年が過ぎました。本年4月には本学を卒業した三期生が医師として羽ばたき、一期生、二期生とともに地域医療に貢献しています。この8年間で病床数が466床から600床へと増床されるとともに、標榜診療科も21科から33科、最新式の医療機器も増設され、80名ほどであった医師数も250名を超えるようになりました。大学病院としての高度な医療提供を行う土台が確固たるものになっています。数名しかいなかった臨床研修医も本年度は25名、専攻医は68名に増えています。病院内には診療実習を行う医学部学生も含め若い活力がみなぎっています。

本学医学部は東北地方の医療を支えるという使命を持って設置されたことから、卒業生が地域医療で戦力となることを主眼とした教育が行われています。その実習の間でもある本院は高度な医療を提供するとともに、一般的な疾患を数多く診療していることが特徴です。従って、当院での研修は幅広い症例が経験できるとともに、150名を超える指導医がいることから、偏りのない指導を受けることができます。若い医師が数多く在籍していることから、働きやすく学びやすい環境です。当院と一緒に働き、東北地方の医療を支えていきませんか。

東北医科薬科大学病院 病院長

佐藤 賢一 Dr. Kennichi Satoh

Message from

思いやりの心を持った医師をめざそう

2016年の医学部開設に伴い、当院は東北医科薬科大学病院として再スタートを切りました。地域医療に貢献できる医師の養成を使命として誕生した大学ですので、学生はもちろん臨床研修に関してもその使命は貫かれております。医学部開設後に診療科、指導医、医療スタッフも大幅に増加し、特に専攻医を中心とした若いスタッフが増えている病院です。研修医の皆さんはその診療チームの一員として臨床能力を磨きつつ、医療人としての基盤を臨床研修の2年間で築き上げて頂きたいと思えます。

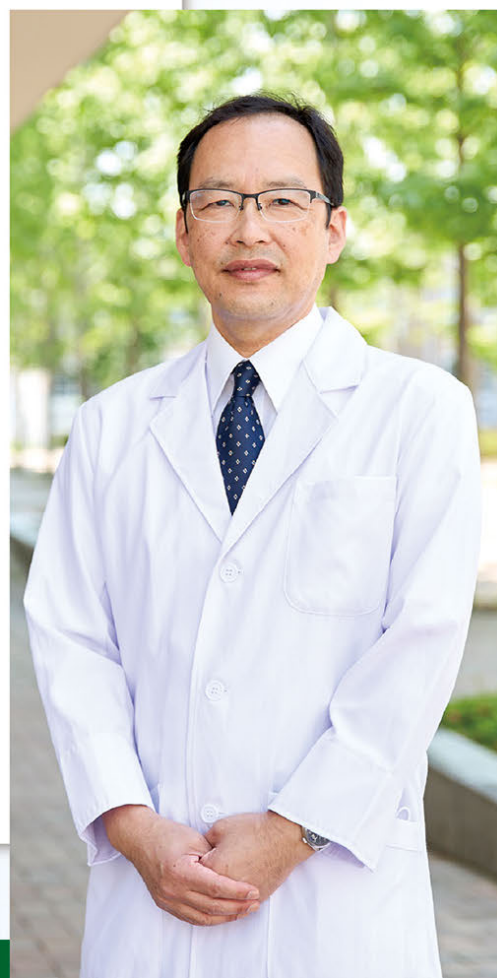
当院は「真心を尽くし思いやりの心で務める」を理念として掲げています。常に冷静さを保ち患者さんのことを第一に考え、患者さんに寄り添い、最善を尽くす“patient first”の精神を持ち続けることが、医師として最も重要で忘れてはいけないことであり、大切な心構えであると考えています。

当院は新専門医制度下で、基幹病院として14の専門研修プログラムを持ち、臨床研修後の専門研修、さらにはその後のサブスペシャリティ領域へとシームレスにキャリアパスを形成していくことができます。また、令和5年度より大学院も設置され学位取得も可能となりました。専門医や学位を取得後、そのままスタッフとして当院でご活躍頂くことも可能です。卒後研修支援センターでは研修医の皆さんが最適な道に進めるよう支援していきたくと思っています。

東北の地域医療に貢献する意欲に満ちた、多くの方々の応募をお待ちしております。

卒後研修支援センター長

Dr. Morihisa Hirota 廣田 衛久



臨床力と総合力で地域医療を支える医師に

当院の前身である東北厚生年金病院は、1982年よりこの場所で地域の医療を支えてきました。その後、2013年東北薬科大学の附属病院に、そして、2016年にわが国で37年ぶりの医学部が新設されたことで、東北医科薬科大学病院として新たなスタートを切りました。医学部附属病院となったことで、診療科の新設、従来の診療科へのスタッフ増員がありました。2019年には大学病院棟が完成し、よりハード面の充実が図られました。病床数はICU 14床を含め150床で、既存病院と合わせた病床数は600床となり、名実ともに大学病院にふさわしい体制が整うことになりました。これまで地域医療へ果たしてきた役割をさらに強化・充実させるとともに、地域医療に貢献できる優秀な医師を育成、さらには、高度医療や研究にも力を注ぎながら、大きく成長していくことを目指します。



About TMPUH

卒後研修支援センターについて

東北医科薬科大学病院卒後研修支援センターは、2016年10月に設立されました。当センターは、卒前教育との連携を図りながら、教員や病院所属医師の“卒後教育”（臨床研修・専門研修）を支援し充実させること、および本学卒業生の東北地方定着に向けた支援を目的としています。

- 研修医の募集および任用に関すること
- 卒後臨床研修カリキュラムの企画立案および実施に関すること
- 研修医の評価に係る業務に関すること
- 研修関連医療機関等との連絡・調整に関すること
- 学部教育との連携に関すること
- 専門医等の育成に関すること
- 地域医師等の生涯教育の支援に関すること
- その他卒後臨床研修に関する事項

東北医科薬科大学病院だからできること

地域型 総合病院

大学病院+横断的な医療

先端的医療機器と
充実した教育リソース

地域を支える
医師を育成

様々な進路、
広がる可能性

大学病院棟 誕生！



特色あるプログラム

総合病院として内科系・外科系診療科、小児科、産婦人科、精神科と必修科がそろっているだけでなく、マイナー科も充実しています。
内科研修では、当院の10の内科系診療科または協力病院で研修を行います。



●救急研修

当院は2次救急医療機関ですが、時に3次救急相当の重症患者も積極的に診察しており、walk inから救急搬送、common diseaseからCPAまで診察しており、研修医の実力を養う絶好の場です。

救急研修では、担当した症例や判断に迷いやすいケースについては指導医がフィードバックを行い、確実に1次・2次救急への対応能力を身に付けることに重点を置いています。救急部門の協力病院には、1次・2次救急を担う病院だけでなく、高度救命救急センターも含まれており、より高度な救急医療を経験することも可能です。研修先としては、仙台徳洲会病院(宮城県)や菅間記念病院(栃木県)などがあります。



●自由選択

自由選択では当院の30以上の診療科(部)および協力病院の中から、診療科を選択してスケジュールを組むことができます。

■ 当院診療科から選択

希望により研修協力病院での研修可。

- | | | | |
|-----------|-----------|--------|--------------|
| ●循環器内科 | ●精神科 | ●形成外科 | ●感染症内科 |
| ●呼吸器内科 | ●小児科 | ●皮膚科 | ●病理診断科 |
| ●消化器内科 | ●消化器外科 | ●眼科 | ●がん治療支援(緩和)科 |
| ●糖尿病代謝内科 | ●肝胆膵外科 | ●耳鼻咽喉科 | ●リハビリテーション科 |
| ●腎臓内分泌内科 | ●呼吸器外科 | ●産婦人科 | ●検査部 |
| ●血液・リウマチ科 | ●乳腺・内分泌外科 | ●泌尿器科 | |
| ●総合診療科 | ●心臓血管外科 | ●放射線科 | |
| ●脳神経内科 | ●脳神経外科 | ●麻酔科 | |
| ●腫瘍内科 | ●整形外科 | ●救急科 | |

※消化器外科、肝胆膵外科の研修は合同で行います

●総合診療科研修

東北医科薬科大学は、東北地方の地域医療を支える医師を育成することを使命として誕生しました。そのため、研修プログラムでも、当院総合診療科または東北医科薬科大学若林病院の総合診療科で約2ヶ月間研修し、地域医療を支えられるよう専門疾患に偏らない、複数の疾患、複雑な背景を抱えた患者さんの診療について学びます。

また、どちらの総合診療科も入院病床を有し、外来での診療だけでなく、入院精査や治療、退院調整についても学ぶことができます。



●地域医療研修

地域医療、一般外来研修では訪問診療や病棟診療、初診患者さんなどの診療について研修します。離島への訪問診療、介護老人福祉施設への訪問診療を行っている病院もあり、地域に即した医療や退院後の生活について理解することができます。

また、当院では約2ヶ月間同じ協力病院で研修することを基本とし、同じ病院で研修し地域の環境を理解することで地域における医療、福祉の役割をより深く学ぶことも研修目標のひとつとしています。

研修先の具体例

涌谷町町民医療福祉センター (涌谷町国民健康保険病院)

地域医療 一般外来



保健・医療・福祉・介護を一体的に提供している病院のため、それぞれの連携を経験できます。また、外来や訪問診療の研修だけでなく、地域保健活動等についても学ぶことができます。

女川町地域医療センター

地域医療 一般外来



介護老人保健施設や病児病後児保育室などが併設されています。研修では外来診療や訪問診療、離島への巡回診療だけでなく、訪問看護や通所リハビリなども経験できます。



離島への巡回診療

石巻市立病院

地域医療 一般外来



石巻市立病院での外来や往診の研修、石巻市雄勝診療所での研修のほか、地域包括ケアに関連する施設での業務など医療以外の地域事業についても学ぶことができます。

宮城県
MIYAGI

東北医科薬科大学病院

これまでの研修先例

●塩竈市立病院 地域医療 一般外来

内科、外科での外来研修のほか、介護老人福祉施設への訪問診療も行っています。

●南三陸病院 地域医療 一般外来

東日本大震災で被災したため、平成27年に南三陸病院として復興、開院した病院です。内科、外科の外来研修や、訪問診療の研修を行います。

研修スケジュール例

内科、自由選択の診療科は、各研修医の希望をもとに相談、調整しながら決めていきます。将来志望する科を中心に研修したい、色々な診療科で研修したいなど診療科の選び方は様々です。

■ 必修科目 ■ 自由選択

プログラム A	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	呼吸器内科	糖尿病代謝内科	総合診療科	脳神経内科	循環器内科	救急科						
2年目	腎臓内分泌内科	小児科	腫瘍内科	呼吸器外科	地域医療・一般外来	精神科	産婦人科	消化器内科				

私は大学病院と市中病院の良いとこどりができる点に魅力を感じ、院内を中心とした研修を希望しました。上級医の先生方は皆さん教育熱心で、丁寧に指導してくださったので安心して研修医生活をスタートすることができました。また、学会発表の機会も多く、私自身も発表させていただき非常に実りある経験となりました。何かやろう!と思った時に同期や上級医の先生方が背中を押してくれる病院なので、とにかく積極的に挑戦してみるチャレンジ精神が身につく研修ができると思います。

門倉 真由 (山形県出身、山形大学卒業)

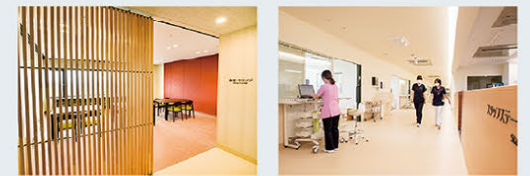
プログラム B	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合診療科	耳鼻咽喉科	救急科	循環器内科	消化器内科	糖尿病代謝内科	呼吸器内科					
2年目	呼吸器外科	精神科	小児科	救急科	産婦人科	地域医療・一般外来	消化器外科/肝胆膵外科					

当院は大学病院ではありますが、専門的な疾患からcommon diseaseと幅広い疾患を学ぶことができます。その中で私は市中病院で9ヶ月研修を行うたすき掛けでの研修を希望しました。最初の3ヶ月を当院の総合診療科と耳鼻咽喉科で過ごし、その後仙台徳洲会病院で過ごし1年目の研修を終えました。どちらの病院でも指導医の先生に様々なことを指導していただき大変勉強になりました。協力病院での研修は新しい視野を持つきっかけにもなります。大変なことも多いですが、多くの経験をしてみたいと考える人こそ、たすき掛けでの研修を考えてみるといいかもしれません。

田口 健太 (神奈川県出身、東北医科薬科大学卒業)

プログラム C	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	呼吸器内科	感染症内科	総合診療科	消化器内科	循環器内科	救急科						
2年目	耳鼻咽喉科	小児科または産婦人科	小児科	呼吸器外科	地域医療・一般外来	精神科	産婦人科	脳神経内科				

大学病院棟・医療設備について



大学病院棟は、ハイブリッド手術室、バイオクリーンルームを含む手術室9室のほか、高性能の機器を備えた放射線治療室や画像診断室等を有しており、これまで以上に高度で先進的な医療の提供が可能となります。また、2019年4月にメディカルトレーニングセンターが開所し、より安全な医療を提供するための技術研修が可能となりました。



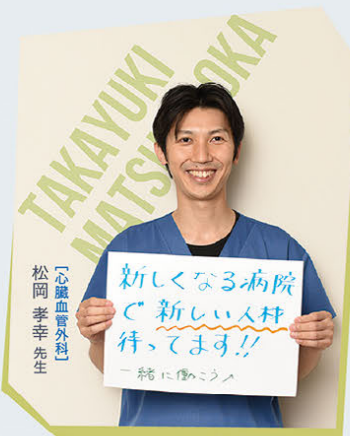
ハイブリッド手術室

手術室に血管造影装置を統合させたもので、高画質な透視・3D-CT撮影も行うことができる手術室です。従来の手術室では対応の難しかった、より高度で低侵襲な治療が可能になりました。



放射線治療装置(リニアック)

リニアックに専用のCT装置を合体させたCT-リニアックという高精度放射線治療装置を導入しました。放射線治療を行う際、ポジションの位置合わせをした後で、位置合わせが正しくできているかどうか、CT撮影をして確認できます。



血管撮影装置(パイプライン型)

パイプラインとは、X線球と検出器が2セット搭載されているシステムのことであり、1度の造影剤注入で2方向を同時に撮影することができます。これにより造影剤減量と被ばく低減が可能になり患者負担の軽減につながります。



メディカルトレーニングセンター(MTC)

医学部の新設に伴い設立したメディカルトレーニングセンター(MTC)では様々なモデル、シミュレーターを用いた技能習得、救急・急変対応、技術トレーニングが可能です。医学部生のほか、新規入職の看護師、メディカルスタッフ、研修医がともに学ぶ場となっています。



研修医たちの ある一日



8:30 9:00

午前

12:00

午後

17:15

業務開始

カンファランス

病棟回診

発熱、食欲不振など患者さんの症状は様々です。指導医と共に病棟回診を行い、検査・診断・治療方針について協議します。必要に応じて他科へのコンサルテーションを行い、効果的に治療を進めます。

ランチタイム

症例検討会

総合診療科には、多彩な背景、主訴の患者さんが入院しています。研修医は、指導医と共に病院の多くの科や多職種と連携を取り、適切な退院後の生活につながるようサポートします。

業務終了

研修医のある一週間

【総合診療科】

月曜日 カンファランス、病棟回診、外来見学

火曜日 カンファランス、病棟回診、外来見学

水曜日 カンファランス、病棟回診、症例検討会、抄読会

木曜日 カンファランス、病棟回診、多職種カンファランス

金曜日 カンファランス、病棟回診

土曜日 救急センター担当業務

日曜日 OFF

★週1回程度、研修医勉強会

★月2～5回程度、救急センター担当業務

病院見学を通して自分のペースで成長できる病院だと感じたので研修先を選びました。

岩城 光祐

大学病院でありながら市民病院としての要素も含まれているので、幅広く様々な経験を積むことができると感じています。

氏原 理貴

当院は大学病院と市中病院、両方の魅力が揃っています。

内田 修子

市中病院と大学病院の2つの特色を持った病院のため、幅広い症例を経験し自分を成長させてくれると考えてここに選びました。

坂本 直輝

大学病院と市中病院の両方の機能を持ち、研修医として豊富な経験が積める点が魅力だと感じました。

千葉 優響

自由選択が多いプログラムで「すので」、まだ将来の科を迷っている方にも大きなメリットだと思います。

中川 晨矢

当院は多くの診療科があり、教育体制も充実しています。将来やりたい診療科が決まっていなくても方におすすです。

波岡 孝汰

診療科や症例が揃っていて様々な経験を積むことができること、先生方から丁寧に指導いただけるところに魅力を感じました。

小熊 美沙

臨床実習で回った際、どの診療科も雰囲気よく、先生方も丁寧に指導して下さったので選びました！

巽 夕夏

多くの指導医がいる大学病院ならではのプログラムと、元市中病院ゆえの common disease の豊富さが魅力です。

南館 尚幸

先生方が指導熱心で、大学病院ならではの疾患はもちろん、一般的な疾患も経験できる点が魅力的だと思います。

村田 大樹

研修医 メッセージ

職場環境

■専攻医・研修医室

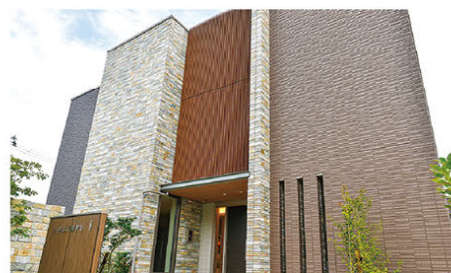
専攻医・研修医専用です。

個々のデスクがあり、電子カルテも設置されています。



■借上住宅

2019年に完成した2棟の借上住宅。1K・ウォークインクローゼット付、トイレバス別で快適。セキュリティも万全なので安心です。



■カフェテリア



■ぶくぶく保育園

夜間保育もっており、子育てをしながら安心して仕事を続けることができます。

※法人教職員利用可



■ローソン



研修医の一年間

4月



入職式 [1年目研修医]
オリエンテーション [1年目研修医]
レジデントデイ

5月

救急センター担当業務開始 [1年目研修医]
CPC
臨床研修プログラム説明会・研修医座談会

6月



病院長との懇談会
レジデントデイ
臨床研修プログラム説明会・研修医座談会

7月

レジデントデイ
臨床研修プログラム説明会・研修医座談会

8月



CPC

9月

10月



病院長との懇談会
レジデントデイ

11月

CPC

12月

レジデントデイ

1月

基本的臨床能力評価試験

2月

CPC

3月



レジデントデイ
学術集会
臨床研修修了式 [2年目研修医]

東北医科薬科大学病院

〒983-8512
宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号

【病院長】 佐藤 賢一

【病床数】 一般病棟554床 精神病棟46床 計600床

【前身】 1946年 5月 宮城第一病院
1982年10月 新築移転、東北厚生年金病院へ改称
2013年 4月 東北薬科大学病院へ移行・名称変更
2016年 4月 東北医科薬科大学病院へ名称変更

職員構成			
2024年4月1日 現在			
職 種	男性職員	女性職員	合計職員
医 師	156名	47名	203名
専攻医	42名	10名	52名
臨床研修医	18名	7名	25名
歯科医師	3名	1名	4名
薬剤師	27名	16名	43名
医療技術職	80名	114名	194名
看護職	43名	598名	641名
福祉職	5名	9名	14名
事務員	25名	58名	83名
技能職	7名	21名	28名
合 計	406名	881名	1287名

臨床研修医募集要項 抜粋	
研修期間	4月1日から2年間
身 分	常勤嘱託職員
給与・賞与	1年目－基本給 330,000円程度/月、賞与 年2回(夏季、冬季) 2年目－基本給 340,000円程度/月、賞与 年2回(夏季、冬季)
各種手当	通勤・賃貸・時間外等
勤務時間	1月単位の変形労働時間制(交替制) 主たる勤務時間 日勤 8:30～17:15、夜勤 16:00～翌日9:00 就業規則に基づき実施
休暇・休日	1月単位の変形労働時間制(交替制)による、週休2日制 年次休暇 法定に基づき付与、育児休業、介護休業等 就業規則に基づき付与
年金・保険	私学共済、雇用保険、労災保険、介護保険(対象者)加入
福利厚生	健康診断実施、ワクチン接種、学会参加への支援制度、医師賠償責任保険(病院負担にて加入)など

NAOMI
FUKUYAMA

【小児科】
福與 なおみ 先生

こどもも笑顔に
All for one
one for all.

DAISUKE
FIKUSHI

【消化器内科】
福士 大介 先生

自分に合った
診療科が
必ず見つかります!

CHIEMO
KINOSHITA

【腫瘍内科】
工藤 千枝子 先生

経験は
力
なり
自分自身が患者は
忘れません!!

YUKI
MIYASHITA

【消化器内科】
宮下 優輝 先生

内視鏡を
はじめとした
多くの手技を
身に付けます!!

MASA
NAKAMURA

【脳神経内科】
中村 正史 先生

楽しく
働き
ましょ

TADANO
MINAGAWA

【心臓血管外科】
皆川 忠徳 先生

そうこりた
忘己利他
の精神

NORIKU
KONDO

【肝胆膵外科】
近藤 典子 先生

仕事は
楽しく!
楽しくなければ
仕事じゃない(かも)

KAORU
HASEGAWA

【循環器内科】
長谷川 薫 先生

一緒に
がんばりましょう!

HISASHI
KIKUTA

【循環器内科】
菊田 寿 先生

忙しい時でも
楽しく働けます
一度見学に来てください!!

KENTARO
SAMAWADA

【消化器外科】
澤田 健太郎 先生

手術たくさんできます!!
(チャンスあればロボットも?)

AZUSA
OTOMO

【呼吸器内科】
大友 梓 先生

やりがいのある
充実した環境で
一緒に働きましょう!
お待ちしております!!

TAKAHIRO
OHARA

【総合診療科】
大原 貴裕 先生

一緒に
やり甲斐のある
職場を作ろう!

MICHIKO
KOBAYASHI

【脳神経内科】
小林 理子 先生

プロフェッショナル
とめざせ!

KAZUHIRO
TAKAMURA

【肝胆膵外科】
高見 一弘 先生

明るく楽しい病院
イ仕事もプライベートも
☆充実☆